

令和8年度四国ブロックスポーツ少年団

軟式野球交流大会

兼エンジョイ！軟式野球フェスティバル2026四国予選会



1 期 日 令和8年7月4日（土） ～ 5日（日）

2 会 場 高知県立春野総合運動公園 他

この大会は公益財団法人スポーツ安全協会の助成を受けて開催するものです

令和8年度四国ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会兼 エンジョイ！軟式野球フェスティバル2026 四国予選会実施要項

1 趣旨

四国ブロックスポーツ少年団が軟式野球の交流を通じて相互の親睦と理解を深め、スポーツ少年団の活性化を図ることを目的とする。

2 主催

公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団
四国ブロックスポーツ少年団連絡会議

3 主管

公益財団法人高知県スポーツ協会高知県スポーツ少年団・高知県軟式野球連盟

4 期日

令和8年6月27日（土）～28日（日）

予備日 令和8年7月4日（土）～5日（日）

※全国大会は8月8日（土）～11日（火・祝）の間、岩手県で開催予定。

5 会場

高知県立春野総合運動公園 野球場、運動広場C、屋内運動場

〒781-0311 高知県高知市春野町芳原 2485 番地 TEL：088-841-3105

6 参加資格

下記の条件を満たす者で、各県スポーツ少年団本部長が推薦する者とする。

(1) 団員

- ① 令和8年度にスポーツ少年団登録をしており、平成26年（2014年）4月2日以降に生まれた者のうち、国、公、私立の小学校または各種学校に在学している団員。
- ② 集団生活に際し、規則正しい行動がとれる者。
- ③ 保護者に大会参加の承諾を得た者。

(2) 指導者等

1) チーム代表者、監督

- ① 令和8年度スポーツ少年団に「指導者」として登録している者
- ② スポーツ少年団の理念を学んだ者

2) コーチ

令和8年度スポーツ少年団に「指導者(※)」もしくは「役員・スタッフ」として登録している者。 ※ スポーツ少年団の理念の有無は問わない。

3) スコアラー、熱中症対策スタッフ

上記「団員」・「チーム代表者」・「監督」・「コーチ」と同一のスポーツ少年団に携わっている者とし、スポーツ少年団の登録者であることが望ましい。

(3) その他

- ① 高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会に参加する単位団とその構成員はエンジョイ！軟式野球フェスティバル2026へ出場することはできない。
- ② 参加チームは全員スポーツ安全保険等に加入すること。
大会期間中のいかなる傷病についても大会事務局は一切の責任を負わない。

7 参加者およびチーム編成

- (1) 団員は計25名以内とする。
- (2) 指導者は、「チーム代表者」1名および「監督」1名の計2名を必置とする。
- (3) 「コーチ」は最大2名、「スコアラー」は最大1名、「熱中症対策スタッフ」は最大2名登録することができる（それぞれ必置ではない）。 ※ ベンチ入り総数は最大32名。
- (4) 大会参加者（団員、チーム代表者、監督、コーチ）は同一の単位団所属であること。
- (5) 「団員」は団員章、「チーム代表者」および「監督」は指導者章を着用すること。
- (6) 大会参加者は、勝敗に関係なく全日程に参加する。また、大会期間中における指導者の交代については、特別な事情があり、かつ主催者が認めた場合に限り可能とする。

8 参加チーム

- (1) 各県2チームとする（計8チーム）。
- (2) 参加チームの選出にあたっては、各県において協議を行い実施すること。

9 参加料

1チーム3,000円（各県スポーツ少年団事務局より事前振込とする。）

【参加料振込先】

金融機関：四国銀行 県庁支店

預金種別：普通

口座番号：5157602

口座名義：コウチケンスポーツショウネンダンホンブ カイケイ フジタ ヤスシ
高知県スポーツ少年団本部 会計 藤田 靖

10 大会日程

概ね別記日程表による。ただし、雨天の場合はこの限りではない。

11 監督・主将会議

6月27日（土）10時より「春野総合運動公園野球場内会議室」にて行うので、参加チームの監督および主将はユニフォームを着用のうえ出席すること。

12 開会式

- (1) 6月27日（土）10時30分より「春野総合運動公園野球場」にて行うので、参加チームは全員、ユニフォームを着用のうえ参加すること。なお、チーム代表者は私服でも可とする。
- (2) チーム名を記載したプラカード、単位団旗を持参すること。
所持していないチームは、大会事務局まで事前にご連絡ください。

13 試合方法

Aゾーン、Bゾーンに分け（各県1チーム）、トーナメント方式で代表決定戦を行う。なお、準決勝へ進めなかったチーム同士で交流戦を行う。

優勝チームをエンジョイ！軟式野球フェスティバル2026の四国ブロック代表とする。

14 組合せ抽選

高知県スポーツ少年団事務局及び運営委員において抽選を行う。

15 交流事業

各試合終了後、アフターマッチファンクションを5分程度行います。
詳細は別途資料のとおり。

16 競技ルール

令和8年度「公認野球規則」および（公財）全日本軟式野球連盟発行「競技者必携／学童野球に関する事項」による。ただし、別に示す「令和8年度四国ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会競技規則及び取決め事項」はこれを適用する。

17 試合球

（公財）全日本軟式野球連盟公認ケンコーJ号球とする。

18 表彰

- (1) 優勝チームには、賞状を授与する。
- (2) 第2位（1チーム）、第3位（2チーム）には、賞状を授与する。

19 個人情報及び肖像権の取り扱い

- (1) 大会参加申し込みにかかわる主催者および主管団体が取得した各種個人情報については、個人情報保護の観点から、適正に取り扱うものとする。また、取得した個人情報については、大会の参加資格審査、大会運営上必要なプログラム作成および周知、大会時のアナウンス、大会結果掲載にかかわること、その他大会運営および大会開催に必要な連絡等にのみ使用する。（表彰・掲示板・ホームページ・大会記録集・報道関係への提供等）
- (2) 大会結果（記録）については、上記(1)で定めた個人情報とともに、主催者および主管団体を通じた公開、大会関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌・関連ホームページ等への掲載ならびに次回以降の大会プログラムへの掲載等で公表することがある。
- (3) 広報のために大会関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真、映像が新聞・雑誌・報告書・関連ホームページ・SNS・インターネット等によって掲載されることがある。
- (4) 大会参加申込として申込書を提出した時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。また、各種大会運営関係者（役員・委員・補助員・関係機関・大会に関する契約をしている者等）については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

20 携行品

- (1) 団体携行品
傷病対策に必要な物品
- (2) 個人携行品
①軟式野球用具一式 ②大会期間中の生活用品等 ③常備薬 ④被保険情報確認書類
(医療保険の資格情報の写し、資格情報のお知らせの写し、資格確認書の写しのいずれか)

21 集合・解散

- (1) 集合
参加者は、指導者が引率のうえ、6月27日（土）9時45分までに「春野総合運動公園野球場」へ集合し、受付を済ませること。なお、10時から監督・主将会議を「春野総合運動公園野球場内会議室」で行う。
- (2) 解散
6月28日（日）閉会式終了後、会場にて解散。

22 宿泊等について

宿泊・弁当等については各自で手配すること。

23 参加申込・お問合せ先

別途申込書に必要事項を記入し、令和8年6月5日（金）必着にて申し込むこと。

【参加申込先】

〒780-0850 高知県高知市丸ノ内1丁目7番52号

公益財団法人高知県スポーツ協会 高知県スポーツ少年団まで

TEL：088-873-6263 E-mail：39pf@kochi-sports.or.jp

24 その他

(1) 当日体調の良くない場合（体調不良、ケガ等）は、参加を見合わせる事。

(2) 各チーム、熱中症やその他傷病対策を必ず講じること。

熱中症やその他傷病の疑いがある団員は、試合途中であっても試合を棄権させ休息をとらせること。

指導者は責任をもって経過観察を行い、適切な処置を施すこと。また、これらに必要な物品・人員は各チームで準備するものとする。主催者は一切の責任を負わない。

25 荒天時の連絡および緊急連絡先

高知県スポーツ少年団 運営委員長 岡本 携帯：090-8971-4635

高知県スポーツ少年団 事務局 山下 携帯：080-9568-7452

この事業は公益財団法人スポーツ安全協会の助成を受けて開催するものです。

**令和8年度四国ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会
兼 エンジョイ！軟式野球フェスティバル2026 四国予選会日程表**

期 日	7月4日（土）		7月5日（日）		期 日
会 場	春野野球場	運動広場C	春野野球場	運動広場C	会 場
7:00	受付 監督・主将会議 開会式				7:00
8:00			準備	準備	8:00
9:00			準決勝B (9:00～)	準決勝A (9:00～)	9:00
10:00					10:00
11:00	準備	移動	交流戦B (11:00～)	交流戦A (11:00～)	11:00
12:00	一回戦A1 (11:30～)	準備 一回戦B1 (12:00～)			12:00
13:00			決勝 (13:00～)		13:00
14:00	一回戦A2 (13:30～)	一回戦B2 (14:00～)			14:00
15:00			閉会式		15:00
16:00	解散	解散	解散		16:00
17:00					17:00
18:00	各試合終了後、各会場にてアフターマッチファンクションを5分～10分程度行います。その時の天候を考慮し、日陰や屋内等で行ってください。				18:00
19:00					19:00

試合の前後に会場移動が必要になるため、便宜上30分の移動時間を設けております。
移動のあるチームは十分に注意しながら、速やかに移動をお願いします。

令和8年度四国ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会兼

エンジョイ！軟式野球フェスティバル2026四国予選会競技規則及び取り決め事項

本大会は令和8年度公認野球規則及び競技者必携に定める規則細則、競技運営に関する取り決め事項、競技に関する特別規則を準用し、詳細については下記の通りとする。

1 規則細則

(1) チーム編成及びベンチに入れる人員について

① チーム編成と競技者の背番号は以下に統一する。

・ チーム代表者	1名	私服可
・ 監督	1名	背番号30番
・ コーチ	2名以内	背番号28・29
・ 団員（選手）	25名以内	背番号0番～99番
代表団員（主将）は背番号10番		

② その他、ベンチに入れる人員

上記①の他に、スコアラー1名、熱中症対策スタッフ2名以内のベンチ入りを認める。

※ スコアラー、熱中症対策スタッフを加えたベンチ入り最大総数は32名とする。

③ スコアラーについて

団員以外とし、記録に関する以外（シートノックやマネージャー行為等）の行為は認めない。

※ 服装は私服とし、ベンチ入りの際はチームで統一した帽子を着用する。

④ 熱中症対策スタッフについて

熱中症対策として、1チーム2名の保護者がベンチに入ることを認めるが、熱中症対策に関すること以外の行為は認めない。また、対戦する両チームの分け隔てなく中立的な立場で対応すること。

※ ベンチ入りの際はチームで統一した帽子を着用する。

(2) 用具、装具等及び禁止事項について

- ① 打者用ヘルメットは、S・G マークのついた全日本軟式野球連盟公認のものを7個以上用意し、打者、次打者、走者及び走塁指導者（ベースコーチ）は、全員両側にイヤーフラップの付いたものを着用すること。
- ② 捕手は、捕手用ヘルメットを着用すること。（捕手用ヘルメットはマスクが分離したものを使用）また、プロテクター、レガース、ファウルカップを着用すること。
- ③ バットは、全日本軟式野球連盟公認（JSBB マーク入り）のものを使用すること。なお、木製については公認制度を適用しない。
- ④ 安全面を考慮し、一般用バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を禁止する。なお、一般用バットであっても、上記以外のもので木製・金属製・カーボン製・複合（金属／カーボン）バットについては、使用制限は行わない。
- ⑤ バットは改造、加工したものは使用できない。ただし、後付けフレアグリップの使用については、専用テープ等で完全に固定・被覆されたならかな形状のものであれば使用を認める。
- ⑥ 素振り用の鉄棒（鉄パイプを含む）、バットリングは使用してはならない。
- ⑦ 同一チームの監督、コーチ、団員は、同色、同形、同意匠のユニフォーム・アンダーシャツ・ストッキング・帽子を着用すること。
- ⑧ 金属スパイクの使用を禁止する。

(3) 応援団等のマナーについて

- ① 球場での道具（太鼓、トランペット等）を使用しての応援は一切禁止する。
- ② 投手が投球動作に入ったら、投手の動揺を誘うような大きな声を発しないこと。
- ③ 自チーム及び相手チームの団員（選手）・審判員に対するやじ・ブーイングは、行わないこと。
- ④ ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を委縮させるような言動を禁止する。
- ⑤ その他、目に余る応援・試合進行の妨げになる応援・近隣住宅の迷惑となる応援等については本部、審判団より嚴重注意を行う。
- ⑥ 個人情報保護の観点から、撮影した写真や動画の取扱い（SNS等への投稿）には十二分に注意すること。また、試合会場でのストロボ等を使用しての撮影など、大会の運営を妨げる行為は禁止とする。

2 競技運営に関する取り決め事項

- (1) 投手・捕手間は16メートル、塁間は23メートルとする。
- (2) その日の第1試合目のチームは、試合開始予定時刻の30分前までに、大会本部が用意し監督会議で渡す打順表（登録された者の全員を記入したもの）1部（6枚複写）を持って代表指導者（監督）と代表団員（主将）と一緒に本部へ提出し、登録メンバーの照合を受けて攻守の決定を行う。打順表へは出場する選手全員を記載し、フリガナをつけること。
- (3) 第2試合目のチームは、前の試合の3回終了時に打順表を提出すること。
- (4) 試合開始予定時間前でも、前の試合が早く終了した場合、次の試合開始を早める場合がある。
- (5) 試合開始時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。
- (6) 試合前のシートノックは、行わない。
- (7) 次の試合のバッテリーは、前の試合開始後1時間を経過すれば、球場内のファールグラウンドでの投球練習を許可する。その際、指導者が同伴すること。捕手はプロテクター、レガース、ヘルメット、ファウルカップを、必ず着用すること。
- (8) 球場内でのフリーバッティング（ハーフバッティング、ロングティーバッティング含む）は認めない。
- (9) ベンチ内での電子機器類（携帯電話、パソコン等）及び携帯マイクの使用は禁止するが、電子スコア記録用として1台の使用を認める。指示用メガホンは、ベンチ内に限り1個の使用を認める。
- (10) 攻守交代時で最後のボール保持者は、投手板にボールを置いてベンチに戻る。
- (11) 試合中、代表指導者（監督）はグラウンドに入って指示を与えることができる。
- (12) 試合のスピード化に関する事項
 - ① 試合の進行状況によっては、タイムを制限することもある。
 - ② 投手の準備投球数は、球審の指示により行うこと。
 - ③ 攻守交代は駆け足で行うこと。また、監督のマウンドへの行き帰りは小走りで行うこと。
 - ④ 投手は、必ず投手板ついて捕手のサインを見ること。
 - ⑤ 次打者は、必ず次打者席へ入り、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。
 - ⑥ 打者は、みだりにバッターボックスを外さないこと。サインもボックス内で見ること。
 - ⑦ 内野手間のボール回しは禁止する。
 - ⑧ 代打、代走の通告は氏名と共に「代打者」「代走者」の背番号を球審に見せて行うこと。
- (13) その他
 - ① ファウルボールの処理については、両チーム選手が行うこと。
ベンチ前から外野方向へのボールは両ベンチのチーム選手が処理し、また、バックネット前のボールは攻撃チームの選手が処理しボールボーイ（ガール）に返すこと。
 - ② 試合終了後のグラウンド整備は、両チーム選手が行うこと。
 - ③ 小雨の場合、日程の都合上、球場が使用可能な状態の場合は試合を行うことがある。
 - ④ 雨天の際の連絡等について
午前中見合わせて午後から行う場合があるので、大会本部からの連絡等について注意すること。

3 競技に関する特別規則

- (1) 本大会の試合は、6回戦とする。ただし、健康維持を考慮し、試合開始後1時間30分を経過した場合は、新しいイニングには入らない。同点の場合は(4)に定めるタイブレーク方式を行う。
- (2) 本大会の試合については、5回終了又は1時間30分を経過すれば試合成立とする。
- (3) 本大会において6回終了時、同点となった場合は次のイニングからタイブレーク方式に入る。タイブレーク方式は継続打順で、前回の最終打者を1塁走者、その前の打者を2塁走者とする。すなわち、0アウト・二塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。
- (4) タイブレーク方式は、投手の球数制限を考慮し、2回までとする。尚同点の場合は、その回の出場選手9名の抽選とする(投手からの守備順序で行う)。
- (5) 5回終了又は1時間30分経過以前に降雨、日没等で試合続行が困難となった場合は、本部の指示に従うものとする。
- (6) 5回以降得点差(7点差)、降雨、日没等でコールドゲームを適用するが、1回戦・準決勝は3回以降10点差のコールドゲームを適用する。
- (7) 決勝戦を除いて、原則として、ダブルヘッダー(同一日2試合)を行わない。ただし、降雨等により大会運営上やむを得ない場合は2試合行うことがある。
- (8) 投手の投球数制限については、健康維持を考慮し、1人の投手の投球数は、1日70球以内とする。(ただし、4年生の場合は60球)打撃中に70球及び60球に達した場合、その打者の攻撃中に攻守交代となるか、打撃が完了するまで投げるができる。
- (9) 抗議のできる者は、代表指導者(監督)でなければならない。
- (10) 守備側及び攻撃側のタイムの回数制限
 - ① 代表指導者(監督)1試合に投手のもとへ行ける回数は3回以内とする。なお、タイブレークとなった場合は1イニングに1回行くことができる。ただし投手交代の場合は回数に含まない。5.10(2)は適用しない。
 - ② 捕手または内野手が、1試合に投手のところへ行ける回数を3回以内とする。タイブレークとなった場合は、1イニングに1回行くことができる。
 - ③ 攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なおタイブレークとなった場合は、1イニングに1回行くことができる。
- (11) 投手は、変化球を投げることを禁止する。投げた場合は次のペナルティを課す。
 - ① 投手が変化球を投げた場合、変化球に対してボールを宣告する。
 - ② 投手が変化球を投げた場合、投げないように監督及び投手に厳重注意する。注意したにも関わらず、同一投手が同一試合で再び変化球を投げた時は、その投手を交代させる。なお、その投手は他の守備につくことは許されるが、大会期間中、投手として出場することはできない。
- (12) 守備の時間が長い場合(概ね20分)には健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする。(試合時間には入れない)

4 指名打者の取り扱いについて 5.11(a)(b)

- (1) 指名打者ルールを使用することができる。ただし、二刀流選手(5.11(b))は採用しない。

5 試合のスピード化に関する事項

- (1) 投手は、捕手、その他の内野手または審判員からボールを受け取り打者に面したあと、走者がいない場合には12秒以内、走者がいる場合は20秒以内に投球に関連する動作を開始しなければならない。違反した場合、球審は、直ちにボールを宣告する。なお、塁に牽制球を送球したときは、20秒の計測をリセットする。

6 その他

- ・警告カード(イエロー・レッド・ブルー)カードの3種類を採用しマナーの向上と競技力向上に努める。
- ・本競技規則及び取り決め事項によらない事項が生じた場合の対応については、主催団体間で協議し、決定するものとする。

大会運営に関する規程（高知県大会）

1 監督会議について

- (1) この会議には、各チームの監督、代表団員（主将）が試合用ユニフォームを着用の上、出席すること。
- (2) この会議に出席しないチームは、原則として大会を棄権したものとみなす。
- (3) この会議での説明および決定事項は、チーム全員と応援関係者に必ず徹底させること。
- (4) 会議の主な内容
 - ・参加申込書・参加者名簿の記載事項（参加指導者・団員等）の確認（申込書提出後の団員の変更および追加は原則認めない。）
 - ・コーチの交代の確認
 - ・大会競技規則等の確認
 - ・その他大会の運営にかかわる必要事項の説明と確認

2 開会式・閉会式について

- (1) 開会式および閉会式は、高知県立春野総合運動公園野球場（雨天時、屋内運動場）で実施する。
- (2) 参加チームは、開・閉会式に必ず参加すること。
- (3) 開会式および閉会式における監督およびコーチ、団員の服装は、競技時の服装とする。
- (4) 開会式時は、大会事務局の指示に従い、マウンド場の所定の位置へ整列する。大会プラカード、単位団旗、団員の順とし1列で並ぶこと。
チーム名を記載したプラカードは各チームで準備するものとするが、無いチームは事前に事務局へご連絡ください。所持していないチームが1チームでもあれば、開会式での使用はしないこととする。
- (5) 参加申込書に記載のある団員以外の団員（小学校1年生以上で、試合用ユニフォームを着用）の参加を認める。
ただし、参加申込書に記載のある団員以外の団員の試合中のダッグアウト（ベンチ）入りは認めない。
- (6) 代表団員（主将）宣誓は、開催県1位チームの代表団員（主将）が行う。

3 宿泊等について

宿泊、食事については各自で手配すること。

4 交流事業について

6月27日（土）の各試合終了後、アフターマッチファンクションを5分～10分程度行う。

5 その他

- (1) 試合中のボールボーイ（ガール）は、各チームにおいてその任務にあたる。
- (2) その他、大会の運営、進行については、大会実施本部の指示に従うこと。
- (3) 団員の安全管理徹底のため、代表者や監督が大会事務局に無断で帰宅する等、チームを離れることがないこと。
- (4) 「ごみ」が出た場合、各自または各チームで持ち帰ること。
- (5) 指定の喫煙場所以外は禁煙とする。
- (6) 天候やその他の状況等により、各種取り決めや規程の変更が必要になった場合は、開催県の判断により柔軟に対応するものとする。

令和8年度四国ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会

アフターマッチファンクション

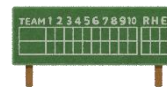


～アフターマッチファンクションの流れについて～

★ 整 列

試合が終了し水分補給を行った後、各会場でお互い向かいあって整列する。
司会役は試合に勝利したチームのコーチとなります。

※ 天候を考慮し、日陰や屋内で実施して下さい。



★ 自己紹介

各チームの代表者（団員）から簡単にチームの自己紹介。

チーム名だけではなく自分たちが日々どのようなことを目標にしながら活動しているのか。また、自分たちが住んでいる市町村のおすすめグルメや身近で流行っていることなどを交えながら自己紹介を行ってください。

★ 相手チームの良いところを褒めましょう。（チームの団員代表）

相手チームの良かったところや勉強になったところを褒めましょう。

（〇〇選手の声掛けがすばらしかった。〇〇選手のバントが上手だった。など具体的な例があればなお良い。）



★ 両チームの監督による試合総括

両チームの監督は試合中のミスを指摘するのではなく、ポジティブな言葉を使って、子どもたちを褒めることを意識しながら試合の総括を行ってください。

また、相手チームだけではなく自分のチームも褒めてください。



★ 最後は大きな声で「ありがとうございました。」で締めて終了。

本大会は交流大会となっております。

試合で勝つことだけに意識を集中させていると、相手の良いところを見つけることは出来ません。相手チームの動きや声掛けなどプレー全体を観察し相手の良いところを見つけましょう。自分自身のスキルアップにつながる新しい発見があるかもしれません。

参加チーム一覧

県名	単位団名
愛媛県	<small>ニイハマネクス</small> 新居浜NEXUS
	ドリームズスポーツ少年団
香川県	<small>タビ</small> 多肥ハリケーン軟式野球スポーツ少年団
	<small>コウザイ シオ カゼ</small> 香西汐風クラブスポーツ少年団
徳島県	<small>クシフチ</small> 櫛渕少年野球チーム
	<small>ミナミノウエ</small> 南井上少年野球部
高知県	<small>タカスザイオン</small> 高須ZIONスポーツ少年団
	<small>ハダ</small> 秦スポーツ少年団



令和8年度四国ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会 兼エンジョイ！軟式野球フェスティバル2026四国予選会 大会諸注意

うえの交流大会開催にあたり、下記の通り定めさせていただきます。
参加チーム代表者は下記のことについて、単位団内に周知徹底し安全で円滑な大会運営にご協力をお願いいたします。

① 会場内での注意事項

- ・ 駐車場は別紙指定の場所へお願いいたします。
- ・ 第1屋内運動場をアップ会場といたします。お互い譲り合って、安全に使用して下さい。
- ・ 会場内において、定められた場所以外でのアップ等の行為は禁止します。
- ・ 鳴り物の使用や音楽をかけての応援は禁止します。
- ・ ごみは必ず各自でお持ち帰りください。

② 雨天時について

- ・ 大会の実施有無については、当日朝6時に決定し、別紙のLINEグループにて通知いたします。
- ・ 天候によっては、大会を2週にわたり実施する可能性があります。(例：27日、5日) 大会の趣旨を鑑みて、全チーム参加するようにお願いします。
- ・ 雨天時の予備日を設定しておりますが、日程が雨天中止となり試合を消化できなかった場合は、残念ながらジャンケン等の方法で全国出場チームを決定いたします。そうならないためにも小雨決行といたしますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

③ その他

- ・ 開閉会式において、プラカード(チーム名記載)を使用いたします。各チームご準備のほどよろしくお願い致します。
- ・ 当日、健康状態が万全ではない者(体調不良・ケガ等)は、参加を見合わせる事。
- ・ 各チーム、熱中症やその他傷病対策を必ず講じること。
熱中症やその他傷病の疑いがある団員は、試合途中であっても試合を棄権させ休息をとらせること。
指導者は責任をもって経過観察を行い、適切な処置を施すこと。また、これらに必要な物品・人員は各チームで準備するものとする。主催者は一切の責任を負わない。
- ・ 参加チームは、スポーツ安全保険等に加入しておいてください。

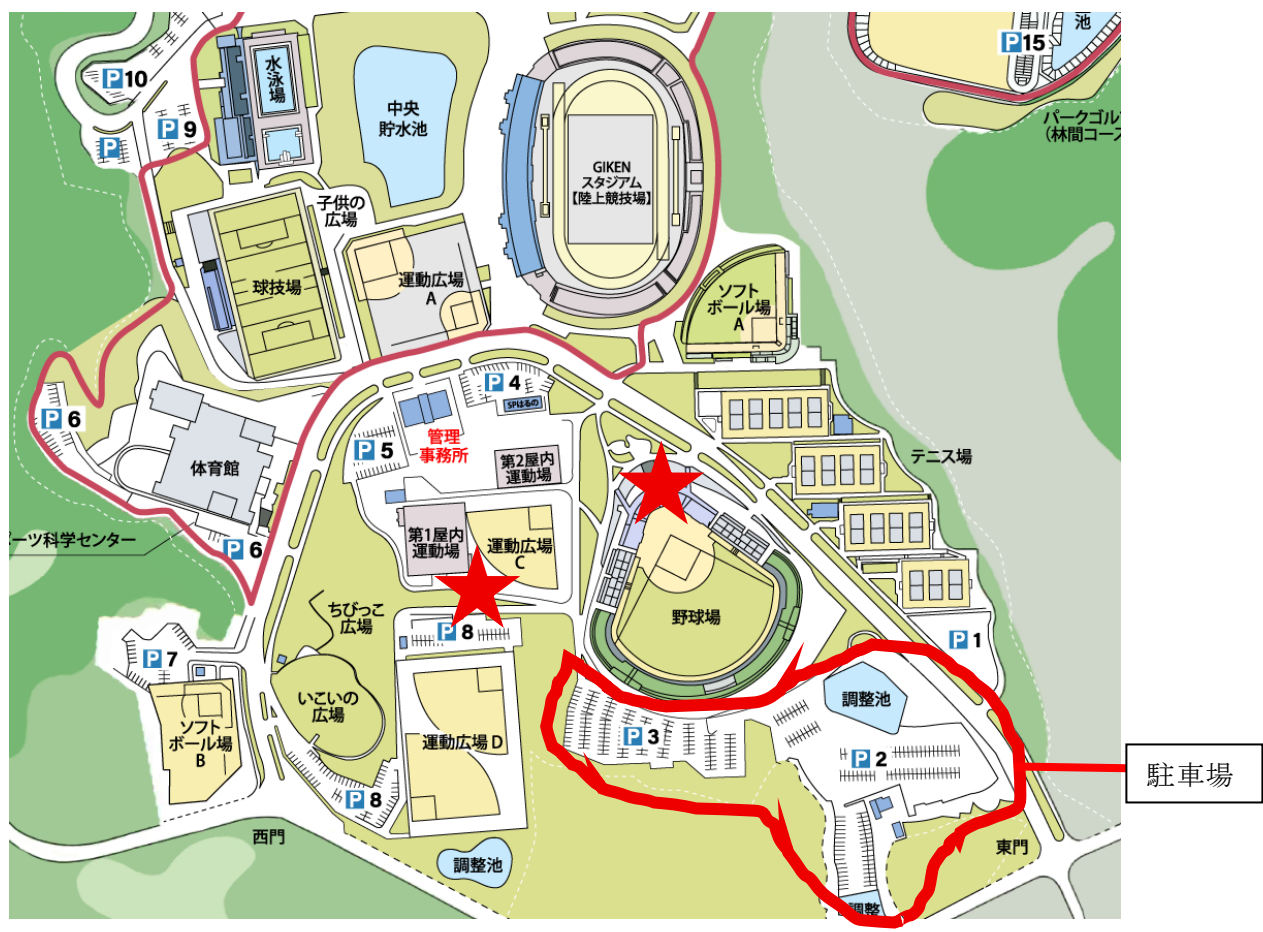
上記以外について、大会運営上必要であると判断される事案については、
高知県本部と競技運営委員長とで協議決定し、大会当日周知いたします。

④ 駐車場について

☆・・・会場

赤枠・・・駐車場

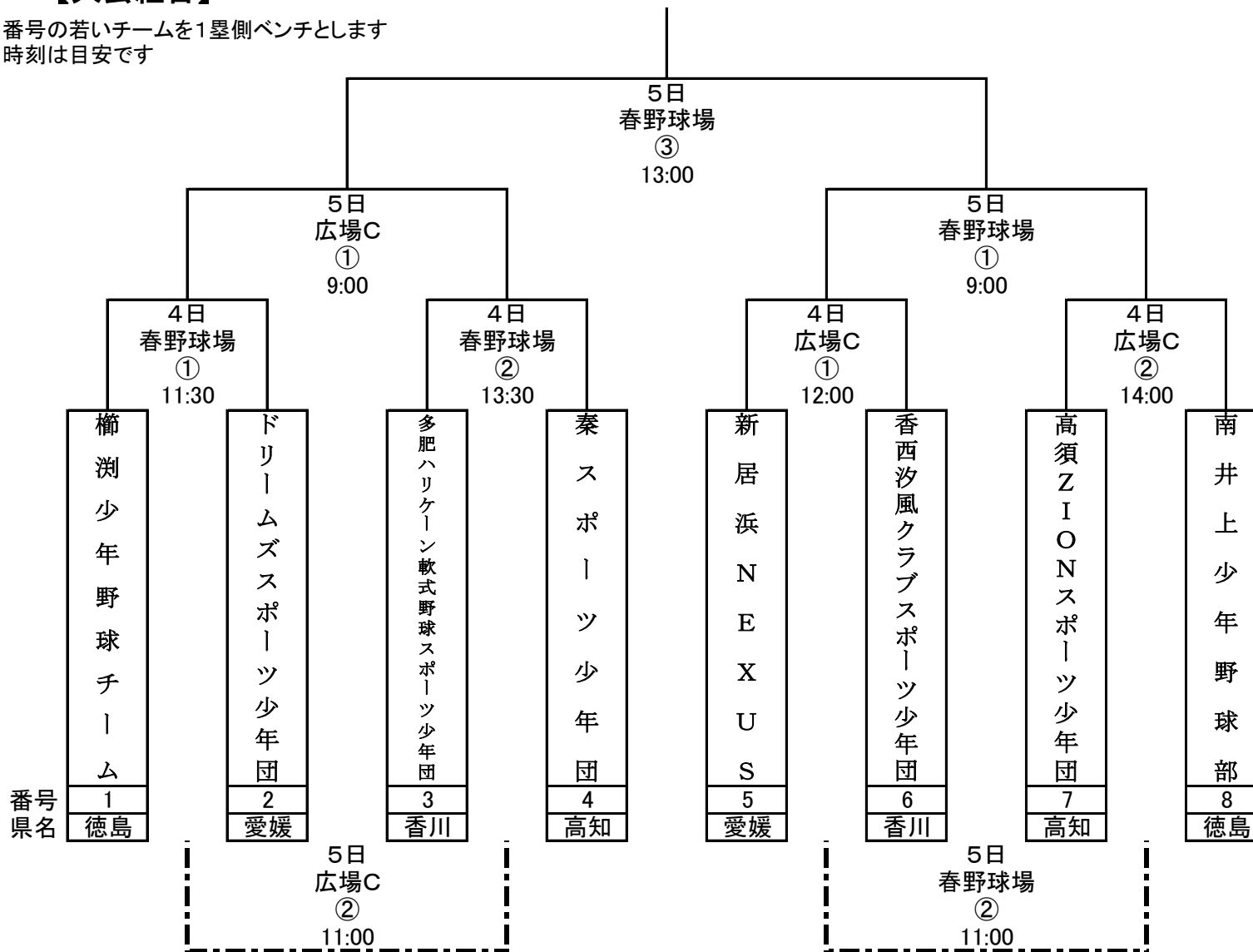
【春野総合運動公園】



令和8年度四国ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会 兼 エンジョイ！軟式野球フェスティバル2026四国予選会

【大会組合】

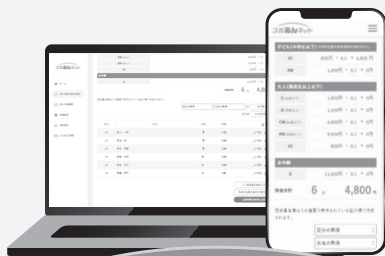
番号の若いチームを1塁側ベンチとします
時刻は目安です



スポーツ // 文化活動 // ボランティア

小さな掛金、大きな補償

スポーツ 安全保険[®]



スポあんネット

インターネットで
かんたん加入

団体活動のための総合補償

#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団
#放課後事業 #総合型地域スポーツクラブ #教室
#部活動地域移行 #文化系サークル #ボランティア

保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。



[引受幹事保険会社]
東京海上日動火災保険株式会社

[共同引受保険会社(2025年4月予定)]
あいおいニッセイ同和/共栄火災/損保ジャパン/大同火災/
東京海上日動/日新火災/三井住友海上/AIG損保

 公益財団法人スポーツ安全協会
<https://www.sportsanzen.org>